NYS DEPARTMENT OF STATE - DIVISION OF LICENSING SERVICES

ネイルスペシャリティ実技試験 手順

これは試験手順の要約にすぎません。より具体的な試験の要件については、オンラインの［*ネイルスペシャリティ実技試験手順タスクリスト（Task List for Nail Specialty Practical Examination Procedures）*］を参照してください。

以下は、受験者が実施を求められる試験手順の説明です。

この試験の各セクションの開始前に、指示と割り当てられた時間のアナウンスが行われます。指示があるまで、いかなる手順も開始しないでください。受験者同士の私語は許可されていません。

ご自身の片手（5本の爪にポリッシュやエンハンスメント（人工爪）が施されていない状態）に基本的なマニキュアを行います。その他のすべての手順はマネキンの手を対象に行います。
注：*マニキュアは、ポリッシュやエンハンスメント（人工爪）が施された爪には行うことができません。*
試験の目的上、マネキンは同一のクライアントとみなされる場合があります。

以下は、マネキンの手に行う高度なネイル手順の要約です：

- **任意の2本の爪にチップを装着します：**
  チップを装着した1本の爪にはシルクラップを施します。さらに、
  チップを装着したもう1本の爪にはグラスファイバーラップを施します。
- **残りの爪先には、フォームを使用して単色の無臭アクリルを施します。**

注：ニューヨーク（New York）州の美容に関する法律および規制に従い、この試験のあらゆる局面において、適切な衛生および消毒手順を実演しなければなりません。

パートI - 作業エリアの準備（10分）

開始の指示があった後、以下のことを求められます：

ステップ1 **キットからあらかじめ調合された表面消毒液および関連用品を取り出し、所定の手順に従って、割り当てられた作業面を消毒します。*このとき、使い捨て用品を入れる密閉できるバッグをワークステーションに必ず取り付け、適切なマニキュア用タオルを配置してください。***

ステップ2 **この試験のパートIIで基本的なマニキュア手順を実演するために必要なすべての用品を配置し、次の指示を待ちます。*（任意：持ち運び方法として汚れた器具用の容器を選択している場合は、その容器を配置しても構いません。）***

注：血液曝露手順の実演は試験から除外されています。試験中に手などを切ってしまった場合は、適切な血液曝露手順に従うことが求められます。

パートII - 基本的なマニキュアと以降の手順への準備 (15分)

ご自身の片手に基本的なマニキュアを行います。進めるよう指示されたら、以下のことを行います：

ステップ1 **ご自身の手を消毒します。**

ステップ2 **適切なファイルを使用して、ご自身の手のすべての爪の形を整えます。*（注：右利きの場合は、左手にマニキュアを行ってください。左利きの場合は、右手にマニキュアを行ってください。）***

ステップ3　ご自身の手をフィンガーボウルに入れて浸します。

ステップ4　フィンガーボウルから手を取り出し、しっかりと乾かします。

ステップ5　手の爪とキューティクル（甘皮）にキューティクルクリームを塗布します。（注：キューティクルクリームは、浸す前または浸した後に塗布することができます。）

ステップ6　キューティクルプッシャー（コットン付きオレンジウッドスティックでも可）を使用して、手のキューティクルを押し戻します。*注：キューティクルのカットは許可され［ません］。停止し、試験官から進めるよう指示があるまで待ちます。*

停止し、進めるよう指示されたら、以下のことを行います：

ステップ7　ローション、オイル、またはクリームを塗布し、マニキュアを行った腕と手に、最低2種類の異なるマッサージストロークを使用して、1〜2分間軽い表面マッサージを行います。

ステップ8　ポリッシュリムーバーまたは消毒剤を染み込ませた糸くずの出ないネイルワイプ、またはコットン付きオレンジウッドスティックを使用して、各指のネイルプレートとキューティクル部分から油膜を取り除きます。

ステップ9　ご自身の爪にネイル用消毒スプレーを吹きかけます（器具・表面用消毒液（disinfectant solution）は［不可］です）。

ステップ10　キューティクルオイルを塗布し、ウォーターマニキュアを行った手の爪をバッフィングしてオイルをなじませ、ツヤを出します。

ステップ11　**ここからはマネキンの手を使用します。**ツヤを取り除き、マネキンの手に高度なネイル手順を行う準備をします。

パートIII - チップの装着と形成（15分）

試験でもう必要ない用品をキットに戻し、パートIIIおよびIVを完了するために必要な用品を配置します。

次に、マネキンの手の任意の2本の爪にチップを装着します：1本にはシルクラップ、もう1本にはグラスファイバーラップを施します（アクティベーター/アクセラレーターはグラスファイバーラップの場合にのみ必要です。アクティベーターは［必ず］ラベル付きの元のボトルに入っていなければなりません）。

ステップ1　［必ず］ネイルプレートの半分を覆うチップを2枚選び、装着します。必要に応じて、装着前にファイルを使用してチップの形を変え、自爪のサイズに合わせます。

ステップ2　適切な器具を使用して、チップを希望の長さに切り揃えます *（注：1/4インチから1/2インチのフリーエッジを残すようにしてください。）*

ステップ3　チップを自爪のネイルプレートになじませます。*（注：液体タイプのブレンディング製品は許可され［ません］。）*

ステップ4　チップをファイルで削り、最終的な形に整えます。

PART IV - ラップの装着（20分）

前の手順でチップを装着した2本の爪に、シルクラップ1つとグラスファイバーラップ1つを装着します。

ステップ1　シルクとグラスファイバーラップを基本的な形にカットします。

ステップ2　グラスファイバーラップを脇に置き、チップを装着した爪の1本にシルクを重ね、手順に従ってカットおよび接着を行います。

ステップ3　1本の爪にグラスファイバーラップを装着し、メーカーの指示に従ってカット、接着、およびアクティベーターの使用を行います。

ステップ4　シルクラップを施した爪に戻り、両方のネイルラップの形を整えます。

ステップ5　キューティクルオイルを塗布し、両方のネイルラップをバッフィングしてオイルをなじませ、ツヤを出します。

パートV - アクリルの塗布 (30分)

注:　[必ず]、MMAを含まない無臭のアクリル製品を使用してください。 (注:代替として低臭性のアクリル製品を使用することは許可され [ません]。)

試験ではもう必要のない用品をキットに戻し、パートVを完了するために必要な用品を配置します。

残っているチップを装着していない爪の1本に、フォームを使用してスカルプチュアネイルを施します。スカルプチュアネイルは、フォームを使用して単色の無臭アクリルで作成します。

ステップ1　リキッドおよびパウダー製品を準備します。*(注:使用していないときは、[必ず]蓋をした状態を保つダッペンディッシュに入れておいてください。)*

ステップ2　ネイルプレートにプライマーを塗布します。*(注:このステップは、使用するシステムでプライマー製品の使用が必要な場合にのみ実行してください。)*

ステップ3　フォームを使用してアクリルネイルのスカルプチュアを行います。

ステップ4　フォームを外し、未硬化層を取り除き、スカルプチュアネイルの形を整えます。(注:アルコールやアセトンは使用できません。未硬化層を取り除くにはネイルファイルを [必ず] 使用してください。)

ステップ5　爪をバッフィングしてオイルをなじませ、ツヤを出します。

ステップ6　ポリッシュ塗布のための作業エリアを準備します。

ステップ7　すべての削りかすや残留物が取り除かれていることを確認し、すべての爪にポリッシュを塗布する準備をします。

パートVI - ポリッシュの塗布と片付け (15分)

試験ではもう必要のない用品をキットに戻し、パートVIを完了するために必要な用品を配置します。

マネキンの手で高度な手順 (エンハンスメント (人工爪)) を行った3本の爪すべてに、レッドのポリッシュを塗布します。

ポリッシュは以下の手順で爪に塗布します:

ステップ1〜4　エンハンスメント (人工爪) を施した3本の爪 – レッドのポリッシュ

ステップ1　高度な手順 (エンハンスメント (人工爪)) を行った3本の爪に、クリアのベースコートを塗布します。*(注:リッジフィラーは許可され [ません]。)*

ステップ2　高度な手順 (エンハンスメント (人工爪)) を行った3本の爪すべてに、レッドのポリッシュを2度塗りします。

ステップ3　高度な手順 (エンハンスメント (人工爪)) を行った3本の爪すべてに、トップコートを塗布します。

ステップ4　　必要に応じて、マネキンの手の皮膚やキューティクル部分に付いたポリッシュをきれいに拭き取ります。

注：フレンチポリッシュは試験から除外されたため、実施しません。

最終ステップ 作業エリアの片付け

ステップ5　　ポリッシュの塗布が完了したら、作業エリアを片付け、すべての用品を再びキットに収納します。
特段の指示がない限り、使い捨て用品は試験室から退出する際に廃棄しても構いません。

ネイルスペシャリティ実技試験 手順概要（06/02/2026）